

第20回 岡本太郎現代芸術賞展



作品「388全身図Ⅱ」

当団機関紙の表紙を手掛けていただいている富田美穂さんが「第20回岡本太郎現代芸術賞展」に出展された作品の一般公開が始まっています。作品名は「388全身図Ⅱ」で、板目木版画で作製された156×233cmの大きさがある大作です。

富田 美穂さんより

残念ながら受賞は逃してしまいましたが、真剣に美術を志す人たちの熱い気合いがぶつかり合うような、厳しくも面白い空間に自分の作品を展示できたということが本当に勉強になったと思っています。この誇らしさと悔しさをばねにして、さらに良い牛を表現できるように精進していきたいと思っています。もっと自由に、そして厳しく、いい作品を作っていきたいです。

お時間のある方は、是非足を運んでいただければ嬉しいです。



物販コーナー

会場:川崎市岡本太郎美術館企画展示室
〒214-0032神奈川県川崎市多摩区枡形7-1-5
会期:2017/2/3(金)~2017/4/9(日)
開館時間:9:30~17:00(入館16:30まで)
休館日:月曜日(3月20日除く)、3月21日~3月22日
観覧料:一般:700円(団体560円)
高・大学生・65歳以上:500円(団体400円) ※中学生以下無料
アクセス:小田急線「向ヶ丘遊園駅」から徒歩15分

●写真撮影/ホルスタインマガジン社



一般社団法人
ジェネティクス北海道
GENETICS HOKKAIDO assoc.

〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F

〈業務部〉
TEL(011)242-9645
FAX(011)242-9651
(改良部)
乳牛改良課
TEL(011)242-9646

●道北事業所..... TEL(0166)57-6111 FAX(0166)57-6113
●道東事業所..... TEL(0153)72-4554 FAX(0153)72-1325
●道央広域事業所 道央 TEL(011)375-4422 FAX(011)375-4411
(改良部) 広域 TEL(011)375-4395 (都府県 担当連絡先)
●十勝北見事業所..... TEL(0156)63-3838 FAX(0156)63-3839
●十勝清水種畜センター... TEL(0156)62-2158 FAX(0156)62-2150
●道央種畜センター... TEL(011)375-3939 FAX(011)375-2330

ホームページアドレス <http://www.genetics-hokkaido.ne.jp>

発行所/一般社団法人 ジェネティクス北海道

発行人/石村 正志 平成29年3月15日号

Vol.423

3月

SIRE

サイア

CONTENTS

- 2 2017-2月以降の遺伝的能力評価に係る変更点について
- 4 新規種雄牛の紹介(乳) JP3H 56137・JP3H 56115・
JP3H 55978・JP3H 56101・
JP3H 56285
- 7 新規選抜種雄牛の紹介(肉) H黒-226・H黒-232・H黒-236
- 10 CD(牛コレステロール代謝異常症)について
- 12 現場レポート(乳) 新しいスタートで前進 ~訓子府町 高倉牧場を訪ねて~
- 14 新規種雄牛の紹介(肉) H黒-272・H黒-284
- 15 平成29年度 体内受精卵移植講習会開催要領



「かまってほしい、私たち」

画:富田 美穂 HP「牛の木版画と絵画」<http://miho-tomita.jimdo.com/>

ブログ「うしのつむじ」<http://usnotumuji.blog28.fc2.com/>

2017-2月以降の 遺伝的能力評価に係る変更点について

家畜人工授精事業体協議会

(独)家畜改良センターで定期的に行っている乳用牛の遺伝的能力評価について、2017-2月より以下の8項目で変更を行うとの報告がありました。その内容についてお知らせします。

①ゲノミック評価に用いるリファレンス集団の拡張

現在、国際的に行われているゲノミック評価では、SNPと血統の情報をもつ個体のデータを「リファレンス集団」として扱い、その頭数により評価の精度が向上します。今回の評価では、北米よりSNPデータを入手し集団を拡張することで、若雄牛の信頼度は平均で約8%増加したことが確認できました。

②ゲノミック評価の計算方法の変更

ゲノミック評価の計算方法を従来のGBLUP法から、計算処理速度が向上するとされるSNP-BLUP法に変更されました。このことにより、ゲノミック評価値を迅速に提供することが可能となります。

③個体ごとのゲノミック評価値の信頼度の公表

これまで未経産牛のゲノミック評価値は形質ごとに全体の信頼度を公表してきましたが、今後、個体ごとの信頼度を公表することとなります。これによって、個体間での信頼度の比較が可能になります。ただし、この対応は2017-2月評価から検定済種雄牛及び若雄牛について実施し、未経産牛と新たに開始する経産牛は2017-8月評価からとなります。

④後代検定済種雄牛のGEBVの公表

ゲノミック評価成績をより身近なものとしてお使いいただけるように、SNP情報を持つ後代検定済種雄牛(2017-2月評価より)および経産牛(2017-8月評価より)の遺伝評価値はGEBVに変更されます。但し、SNP情報を持たない個体は、従来のEBVとなります。このことにより、一時的ではありますが、2017-2月の種雄牛評価値は、順位に若干の変動が生じることが確認されています。

⑤若雄牛のゲノミック評価値(GPI)の公表

ゲノミック評価値(GPI)については未経産牛の公表を行ってきましたが、今回の評価より、精液の利用が可能な個体を含む国内および北米(CDDRからSNP情報の提供のあったものに限る)の若雄牛について、(独)家畜改良センターホームページにて公表されます。これにより、日本の飼養環境に適したゲノミック評価値を用いた若雄牛の選択が可能となります。

若雄牛の改良への効果については短期的な報告はありますが、長期的な利用効果の調査報告はこれから実証される段階です。特定の若雄牛を集中利用した場合、期待した効果が得られないといったリスクも大きくなります。評価の数字だけで利用すると判断するのではなく、検定済種雄牛よりも若雄牛を用いた場合のメリットが大きいと考える場合のみ、かたよりを持たせないような注意をしたうえでの組み合わせでの利用が望ましいと考えられます。

⑥ゲノミック評価の対象形質について

2017-2月評価から後代検定済種雄牛及び若雄牛、2017-8月評価からの雌牛(経産牛及び未経産牛)のゲノミック評価公表対象となる形質は、表. 1のとおりです。

表. 1 2017-2月より公表となるゲノミック評価対象形質

泌乳形質: 乳量、乳脂(量・率)、乳蛋白質(量・率)、無脂固形分(量・率)
体型形質: 得点5形質 体貌と骨格、肢蹄、乳用強健性、乳器、決定得点 線形18形質 高さ、胸の幅、体の深さ、鋭角性、BCS、尻の角度、坐骨幅、後肢(側望・後望)、蹄の角度、前乳房の付着、後乳房(高さ・幅)、乳房(けん垂・深さ)、前乳頭の(配置・長さ)、後乳頭の配置
体細胞スコア、在群期間※、泌乳持続性、空胎日数、娘牛受胎率
総合指数(産乳成分、耐久性成分、疾病繁殖成分)、乳代効果、長命連産効果※

※後代検定済種雄牛と若雄牛のみ公表

⑦国内評価の公表時期および回数の変更

これまでの公表時期および回数について、表. 2のように変更となります。未経産牛についての提供が年6回(公表3回と中間評価3回)に増えることでより効率的な交配計画を立てることが可能になります。

表. 2 公表スケジュール

公表時期	後代検定済種雄牛および若雄牛※1	雌牛および未経産牛※2
8月	第5火曜日 (第5火曜日がない場合は9月第1火曜日)	
12月	—	第3火曜日
2月	最終火曜日	

※ 1 新規若雄牛は年4回(4月、6月、10月、12月)

※ 2 新規未経産牛は年3回(4月、6月、10月)中間評価結果を提供

⑧雌牛の泌乳形質における評価採用条件の変更

これまで評価では、雌雄別々の採用条件で実施してきましたが、今後、雌雄同一の評価のデータ採用条件(表. 3)に変更になります。これにより自家検定牛のような一部の検定牛は評価値再計算の対象となり再計算対象牛はゲノミック評価値の計算対象からははずされます。但し参考情報として掲載される総合指数、産乳成分の上位牛相当には含まれます。

表. 3 2017—2月評価以降の泌乳形質データ採用条件

- ア) ホルスタイン種
- イ) 父牛が明らかであること
- ウ) 立会検定(A4法またはAT法(2・3回搾乳)又は自動検定
但し雌牛再計算の場合、上記に加え自家検定も含む
- エ) 初産から3産までの検定日記録(分娩後305日以内)
(初産:18~35か月齢、2産:30~55か月齢、3産:42~75か月齢)
但し、雌牛再計算の場合
(初産:17~47か月齢、2産:24~67か月齢、3産:36~87か月齢)
- オ) ICAR(家畜能力検定に関する国際委員会)の検定ガイドラインに準じた精度が保たれていること
- カ) 同一管理グループ(牛群・検定日・搾乳日数および牛群・検定年・産次(初産または2~3産))に同期牛が存在すること

新規種雄牛の紹介 乳用種雄牛評価成績2017-2月

新規種雄牛の紹介 乳用種雄牛評価成績2017-2月

本牛



KENEKALAND BENNER BELL SKY ET

◆ 個体識別番号: 13081-1575-5
◆ 平成23年7月14日生
◆ 繁殖者: カナダ ベンナー ホルスタインズ
◆ 生産者: 北海道 株式会社ケネカランド

JP3H56137

ケネカランド ベンナー ベルスカイ ET

BLF/CVF/BYF/CDF

GNTP No.

7

GNTP +2,145

- ◆ 母系は乳器改良と成分改良に定評のある“ジブシーランド”ファミリー
- ◆ 長命性に優れたアイオタ息子牛(長命連産効果3位、耐久性成分3位)
- ◆ 優れた体型改良効果で、特に肢蹄は**全国第1位**

肢蹄	耐久性成分	長命連産効果	決定得点	乳器	乳蛋白質量
全国第1位	全国第3位	全国第3位	全国第4位	全国第7位	全国第10位

- ① レーガンクレスト アルタアイオタ ET
- ② オービー マンフレッド ジャスティス ET
- ③ レーガンクレスト イトローイサ
- ④ ベンナー ジェットストリーム ブルーベル ET VG-87
- ⑤ アップルイス ジェットストリーム ET
- ⑥ ジェンアイベック モーティ パービー ET
- ⑦ ストーター モーティ ET


GNTP全国第7位にランキングした「ベルスカイ」は、平成22年に種雄牛造成を目的として導入した当団の優良遺伝資源造成事業の受精卵より誕生したアルタアイオタによる種雄牛です。

ベルスカイの母「ベンナー ジェットストリーム ブルーベル ET」は「ベイラー トウワイン」の孫に当たり、カナダの名血「ジブシーランド」ファミリーの好体型を強く受け継いでいます。当団がブルーベルと受精卵契約を行った当時、彼女は強靱な胸と良く開帳した肋に加え、初産らしい底面の高い乳器を備えた品位に富んだ2歳級でした。初産305日13,844kg 3.7% 3.3P%を記録、VG-87点を獲得し、経産牛LPI上位にランキングされました。特に乳量・乳蛋白質量において高い遺伝能力を示していました。

「ベルスカイ」は「アルタアイオタ」の息子らしい幅と深さに富んだ雄大なフレームが特長の体型改良に優れた種雄牛です。全国第2位の耐久性成分を誇り、肢蹄・乳器・体型の三拍子揃った改良が魅力です。特に父アルタアイオタ譲りの好肢蹄は全国第1位(+1.41)です。また、乳器の改良においても全国第7位の評価値を持ちます。特に後乳房の改良に定評があり、尻幅があり、そこから幅広く高く付着した力強い後乳房が期待できます。決定得点においても全国第4位と体型改良に定評があり、高い長命連産効果(全国第3位)も魅力です。能力面においても乳量が高く、各乳成分のバランス良い改良が期待できます。


プリツジボード スーダン ボイル スカイマーク ET

八雲町/角橋 秀典 氏 所有 母の父/バーアーリードン スーダン ET




プリツジボード スーダン ボイル スカイハイ ET

八雲町/角橋 秀典 氏 所有 母の父/バーアーリードン スーダン ET



母牛




ベンナー ジェットストリーム ブルーベル ET

GNTP全国第17位にランキングした「バツジオ」は、枝幸町 内田喜久男牧場にてNTP上位で活躍している「ジュリエット」ファミリーより輩出された、国内初のドーベルマン息子牛です。

「ウチ ジュリエット ハーモニア OB」とその母「ウチ ジュリエット OB ガーター」は、経産牛NTPにおいてそれぞれ第15位と第20位まで上り詰めた当ファミリーの代表牛です。カリプソ娘牛であるハーモニアは未経産時にその独特の掛け合わせと高いPA(両親平均)から注目を浴びました。当団では平成21年に優良資源造成事業としてハーモニアのバージョンフラッシュによる受精卵を導入し、これの受精卵から猿払村 丹治智寛牧場にて誕生した唯一のプラネット娘牛が、バツジオの母「ウチ プリズム ジュリエット ET」になります。プリズムもまた、ファミリーの特長である高能力を発揮し、2歳時に経産牛NTP第8位で登場しました。彼女はプラネットの娘牛らしいダイリーなフレームと資質形状に優れた乳器を備えており、1年1産を重ねて7歳5産になる現在もVG-87点(乳器89点)と健在です。

プリズムの初産分娩による子が今回紹介するドーベルマン息子牛のバツジオになります。バツジオは「ドーベルマン」×「プラネット」×「カリプソ」というユニークな掛け合わせで、ゴールドウインやBWマーシャルを含まない血液でもある為、幅広い交配が可能です。また、乳成分率の改良にも定評があり、乳成分率オールプラスで特に乳タンパク率の改良に優れています。尻の構造も好ましく、坐骨幅があり位置も正確です。中程度のサイズかつ気質穏やかな娘牛が多く、管理のし易さも魅力の一つです。



アールチエ ビュアソウル ダイチ

広尾町/目黒 富夫 氏 所有 母の父/クリーク BWM ダンティ ET

本牛



PLAIN MITZI BLACKHILL ET

◆ 個体識別番号: 13498-0805-0
◆ 平成23年8月12日生
◆ 生産者: 北海道 平野 洋巳 氏

JP3H55978

プレイン ミッチー ブラックヒル ET

BLF/CVF/BYF/CDF

GNTP No.

22

GNTP +1,806

- ◆ 祖母は機能的体型で安定した能力を持つ “ヘンデル ダーハム ミッチー 1390 EX-90”
- ◆ 低い体細胞スコアで乳質改善に貢献
- ◆ 耐久性成分、乳器改良に優れたヒル息子牛


耐久性成分	体細胞スコア	体貌と骨格	乳器	決定得点
全国第7位	全国第7位	全国第8位	全国第8位	全国第10位

- ① ロツタヒル シヨトル 41 ET
- ② ビックストーン ショツテル ET
- ③ ロツタヒル マーシャル 3328
- ④ プレイン ゴールドウイン ミッチー ET VG-87
- ⑤ プレイデール ゴールドウイン
- ⑥ ヘンデル ダーハム ミッチー 1390 EX-90
- ⑦ レーガンクレスト エルトン ダーハム ET

GNTP全国第22位にランキングした「ブラックヒル」は能力・体型・管理形質のバランス良い改良が特長のヒルによる新規種雄牛です。ブラックヒルの母「プレイン ゴールドウイン ミッチー ET」は豊富町 平野洋巳牧場にて優良遺伝資源造成事業由来の受精卵から誕生した産子で、初産時に84点(乳器85点)を獲得、高い乳成分を発揮しました。平野牧場ではこのゴールドウイン ミッチーや彼女のポルトン娘牛、ドーベルマン娘牛が経産牛NTP上位で活躍し、枝葉を伸ばしています。当ファミリーの代表牛でもある北米の「ヘンデル ダーハム ミッチー 1390」は2歳10ヵ月齢で2産目を分娩し2万キロを達成しており、高能力・好体型は当ファミリーの特長です。当ファミリーの代表種雄牛は当団の「JP3H55182ハスキー」やCRI社の「1H10458デイ」といった体型と能力の改良に優れた種雄牛です。

「ブラックヒル」はファミリーの高い遺伝伝達能力を受け継ぎ、娘牛達は斉一性に富んでいます。乳器の改良においては全国第8位と前後乳房の付着強く、底面の高い乳器を備えます。近年短く近い乳頭が増えている中、外付きの配置かつ適度な長さで搾乳ロボットにも対応可能です。能力面では乳成分率オールプラスで体細胞スコア1.65(全国第7位)と乳質改善にお勧めです。中型サイズで飼養管理しやすく、長く牛群で活躍する娘牛が期待できます。

「ブラックヒル」は父ヒルの長所をしっかりと引き継いだ能力・体型・管理形質のバランス良い改良が特長です。



クリスタルK グローリアス ブラックヒル

置戸町/小建 一彦 氏 所有 母の父/ゴールドデンオークス ガーネット ET

本牛



PURESOU ROMIO BAGGIO

◆ 個体識別番号: 13642-1327-3
◆ 平成23年12月31日生
◆ 生産者: 北海道 丹治 智寛 氏

JP3H56115

ピュアソウル ロミオ バツジオ ET

BLF/CVF/BYF/CDF

GNTP No.

17

GNTP +1,928

- ◆ ドーベルマン×プラネット×カリプソのアウトクロス
- ◆ 高いインデックスの“ジュリエット”ファミリー
- ◆ 乳成分オールプラスで、成分改良に貢献

SNF%	乳蛋白質%
全国第1位	全国第5位

- ① コツパートップ ドーベルマン ET
- ② ビックストーン ショツテル ET
- ③ ウィンドルウェイ グランガー ドーブ
- ④ ウチ プリズム ジュリエット ET
- ⑤ エンセナダ タパー プラネット ET
- ⑥ ウチ ジュリエット ハーモニア OB
- ⑦ ノアバート カリプソ フタゴ

新規種雄牛の紹介 乳用種雄牛評価成績2017-2月



本牛

EL VEILED HILL

JP3H56101

EL **ヴェイルドヒル**

BLF/CVF/BYF/CDF **GNTP +2,145**

◆ 個体識別番号: 13505-1609-8
◆ 平成23年12月7日生
◆ 生産者: 北海道 徳永 一男氏

GNTP No. 27

- ◆ 乳器と肢蹄改良に優れるヒル息子牛
- ◆ 在群期間、長命連産効果に優れる種雄牛
- ◆ 低い体細胞スコアで乳質改善に貢献

疾病繁殖成分 全国第5位

体細胞スコア 全国第5位

耐久性成分 全国第6位

長命連産効果 全国第6位

乳器 全国第9位

空胎日数 全国第9位

肢蹄 全国第9位

ロツタヒル ショトル 41 ET

ピックストーン ショツテル ET

ロツタヒル マーシャル 3328

エメラルドレイク ヴェイルド エリート ET VG-87

4-09 2X 305 M14.245 F480 3.4% P463 3.3% SNF1.228 8.6%

デュドック ミスター パーンズ ET

シラービュー エル グラツセラ ET VG-86

2-01 2X 365 M30.450 F1.103 3.6% P944 3.1%

ローダン ET

GNTP全国第27位にランキングした「ヴェイルド ヒル」は弟子屈町 徳永一男牧場から輩出された「ヒル」×「パーンズ」×「ローダン(ドイツ種雄牛)」という異色の掛け合わせのアウトクロス種雄牛です。血液を遡るとミネソタ州のシルビュー牧場で繁栄しているエリートカウファミリーに繋がり、ABS社の「29H13162ジエラード」や「29H13083ギャレット」が当ファミリーの代表種雄牛として良く知られています。当ファミリーは幅・深さに富んだ雄大なフレームと好肢蹄、そして高い産乳能力が特長です。

当団では平成19年に当時2歳の「シルビュー L グラツセラ ET」(父:ローダン)と受精卵契約を行い、パーンズを交配した受精卵を導入しました。そして、この受精卵から徳永牧場にて誕生したのが「ヴェイルド ヒル」の母「エメラルドレイク ヴェイルド エリート ET」でした。彼女はパーンズ娘牛らしい極めて乳用性に富んだ骨格と理想的な角度の飛節を備えた強靱な肢蹄、そして付着が強く資質形状に優れた乳器を備えた素晴らしい雌牛でした。2歳84点(乳器85点)、3歳87点(乳器88点)を獲得しており、彼女のフレイヤーやマツセイによる娘牛達は徳永牧場以外にも広がり、高いインデックスを示して活躍しています。

「ヴェイルド ヒル」は疾病繁殖成分が全国第3位であるように管理形質の改良のスペシャリストです。体細胞スコアは1.59(全国第5位)と非常に低く、空胎日数134日(全国第9位)とトラブルフリーの娘牛が期待できます。更に、体のサイズは平均以下で体高を抑えたいという牛群には最適かつ、母譲りの耐久性に富んだ肢蹄から牛群で長く活躍してくれます(在群期間103)。乳成分率オールプラスでトラブル少なく長命性に優れた「ヴェイルドヒル」は、高い長命連産効果(全国第6位)を発揮します。

また、乳器の改良にも定評があります。特に「ヴェイルド ヒル」の母を彷彿とさせる腹壁から長く強く付着した前乳房を望む方にお勧めです。



2008プレミアナショナル「ショウ インターミディエートチャンピオン」

母牛

GLORYLAND RIYU ET

JP3H56285

グローリーランド **リユ** ET

BLF/CVF/BYF/CDF **GNTP 1,237**

◆ 個体識別番号: 13585-0692-3
◆ 平成23年12月13日生
◆ 繁殖者: アメリカ トム・メルクロ & ニック・レギー
◆ 生産者: 北海道 酒井 保幸氏

GNTP No. 60

- ◆ RC-LC ゴールドウイン ATM EX-92
- 3-10 2X 305 M17.069 F838 4.9% P587 3.4%
- ◆ プレイテール ゴールドウイン
- ◆ カトクティン オーマンライア 1122 ET VG-85
- 6-10 2X 305 M12873 F602 4.7% P448 3.5%
- ◆ オービー マンフレッド ジャスティス ET

GNTP全国第60位にランキングした「リユ」は、体型改良に極めて優れたヒルによる息子牛です。リユの母「RC-LC ゴールドウイン ATM EX-92」はショウカウとして活躍しており、雄大なフレームと乳用強健性を兼ね備えたゴールドウイン娘牛です。

40位以内の種雄牛と比較しても、決定得点+2.19、乳器+1.90、肢蹄+1.08と、体型改良度はGNTP上位の種雄牛を上回る成績を示しています。娘牛の平均決定得点も80点を超え、斉一性の高いスタイリッシュな娘牛が期待できます。また、斜尻傾向である為、坐骨位置の高い牛に対しても交配可能です。

加えて、管理形質の改良にも優れ、体細胞スコア低く、空胎日数が短く、高い長命性を発揮します(在群期間103)。次世代の体型改良のスペシャリストとして当団が期待を寄せる新規種雄牛です。

※ 各形質別順位はGNTP40位以内の種雄牛における順位です。

H黒-226

個体識別番号: 12991-5758-1 黒原5529 84.8点
平成22年12月28日生 産地: 北海道日高郡新ひだか町
繁殖者: 前川 勝俊氏 ※遺伝病は全てマイナス

うめ さかえ ふく

田尻系 梅栄福

『梅栄福』は北海道日高郡新ひだか町の前川勝俊牧場にて平成22年に生産されました。母「うめこ(父:勝忠平)」は去勢牛(父:藤北景)で格付A-5、BMS No.12、ロース芯面積71cm²、枝肉重量580kgの産肉実績を持ち、平成22年12月評価の北海道育種価において脂肪交雑順2位にランクされた高育種価雌牛です。

また、祖母「うめふくこ」は宮崎を代表する「安平」の娘で、本牛は「北乃大福」を交配し、脂肪交雑の改良と田尻系の血液濃度を高めることに期待して造成された田尻系種雄牛です。

現場後代検定では上物率96.8%、BMS No.7.3、枝肉重量470kgと脂肪交雑、枝肉重量に優れた成績となっており、特に上物率においては当団史上最高の成績を記録しております。また、平成29年1月評価の北海道育種価では脂肪交雑順18位にランクされており育種価においても高い評価を持ちます。

系統別には田尻系、気高系、藤良系の3系統において優れた成績を記録していますが、特に藤良系母体の去勢牛では上物率100%、BMS No.8.5と優れた脂肪交雑能力を示しています。

発育、前軀、体深、体伸びに富み、骨締まりの良い産子が生産されており、「北乃大福」の後継牛としての活躍が期待される1頭です。

血統

北乃大福 [うめこ] 勝忠平 [うめふくこ] 安平 [うめふくの3] 隆美

成績1

上物率(%)	96.8	枝肉重量(kg)	470
ロース芯面積(cm ²)	63	バラの厚さ(cm)	8.5
皮下脂肪の厚さ(cm)	2.7	歩留基準値(%)	75.0
BMS No.	7.3	肉の色 光沢	4.5
きめしまり	4.5	脂肪光沢質	5.0

現場後代検定成績
上物率及び平均値(去勢16頭・雌15頭)

成績2 育種価 33頭

枝肉重量 育種価(kg) 正確度	ロース芯面積 育種価(cm ²) 正確度
46.618 0.934	17.069 0.926
バラの厚さ 育種価(cm) 正確度	皮下脂肪厚 育種価(cm) 正確度
1.771 0.914	-0.189 0.934
歩留基準値 育種価(%) 正確度	脂肪交雑基準値 育種価 正確度
3.047 0.934	2.613 0.941

調査牛の母牛による系統別平均一覧

系統	性別	頭数	月齢	上物率	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS	肉の色 光沢等級	きめしまり等級	脂肪光沢質等級
田尻	♂	2	28.2	100.0%	529.5	69.0	8.7	2.7	75.2	7.0	4.5	4.5	5.0
	♀	3	28.9	100.0%	425.0	62.7	7.7	2.4	75.2	8.0	4.7	4.7	5.0
	計	5	28.6	100.0%	466.8	65.2	8.1	2.5	75.2	7.6	4.6	4.6	5.0
茂金	♂	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	♀	1	28.7	0.0%	464.0	58.0	8.2	2.0	74.8	5.0	4.0	3.0	5.0
	計	1	28.7	0.0%	464.0	58.0	8.2	2.0	74.8	5.0	4.0	3.0	5.0
気高	♂	10	28.4	100.0%	489.0	62.9	8.7	2.3	75.2	7.1	4.6	4.6	5.0
	♀	5	29.2	100.0%	447.8	56.4	8.4	3.2	73.9	7.6	4.6	4.4	5.0
	計	15	28.7	100.0%	475.3	60.7	8.6	2.6	74.8	7.3	4.6	4.5	5.0
藤良	♂	4	28.6	100.0%	478.0	64.3	8.7	2.4	75.5	8.5	5.0	5.0	5.0
	♀	6	28.7	100.0%	457.2	65.0	8.6	3.2	75.0	6.7	4.2	4.2	5.0
	計	10	28.7	100.0%	465.5	64.7	8.6	2.9	75.2	7.4	4.5	4.5	5.0



新規選抜 黒毛和種 種雄牛の紹介

H黒-232

個体識別番号:13012-9780-9 黒原 5532 83.4点
平成23年6月25日生 産地:北海道瀬棚郡今金町
繁殖者:田中 秀一氏※遺伝病は全てマイナス



ゆり ふう ひで
友里福秀

『友里福秀』は北海道瀬棚郡今金町の田中秀一牧場にて生産されました。

母「きたゆり(父:北国7の8)」は2産目の去勢牛(父:安糸福)で格付A-5、BMS No.12、ロース芯面積67cm²、枝肉重量562kgの産肉実績を持つ種牛性の高い優良繁殖雌牛です。

本牛は産肉能力の高い「安糸福」を交配し、骨締まり良く、体深や体伸びに富んでいます。

現場後代検定では上物率90.3%、BMS No.7、枝肉重量488kgを記録し、平成29年1月評価の北海道育種価は脂肪交雑順22位にランクされ、育種価指標ではA A B C B Aと枝肉重量を含め、その他の形質の改良に期待のできる評価を持ちます。

系統別には気高系との相性が良く、BMS No.12をはじめ上物率94.4%、BMS No.7.4と優れた脂肪交雑能力を示しています。

生産された子牛は資質、品位、骨締まりが良く体上線の強い産子が多く見受けられており今後が期待の田尻系種雄牛です。

血統 安糸福
きたゆり — 北国7の8 — 平茂勝
ゆりふう — ゆりか — 美福

成績1 現場後代検定成績

上物率(%)	90.3	枝肉重量(kg)	488
ロース芯面積(cm ²)	61	バラの厚さ(cm)	8.0
皮下脂肪の厚さ(cm)	2.9	歩留基準値(%)	74.1
BMS No.	7.0	肉の色 光沢	4.3
きめしまり	4.2	脂肪光沢質	5.0

成績2 育種価 32頭

枝肉重量 育種価(kg) 正確度	88.577 0.930	ロース芯面積 育種価(cm ²) 正確度	15.087 0.922
バラの厚さ 育種価(cm) 正確度	0.861 0.909	皮下脂肪厚 育種価(cm) 正確度	-0.132 0.931
歩留基準値 育種価(%) 正確度	1.611 0.931	脂肪交雑基準値 育種価 正確度	2.565 0.937

調査牛の母牛による系統別平均一覧

系統	性別	頭数	月齢	上物率	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS	肉の色 光沢等級	きめしまり等級	脂肪光沢質等級
田尻	♂	4	27.8	75.0%	466.3	60.0	7.7	2.0	74.8	6.0	4.3	4.0	5.0
	♀	3	28.3	100.0%	511.7	66.7	8.6	3.4	74.4	8.0	4.3	4.3	5.0
	計	7	28.0	85.7%	485.7	62.9	8.1	2.6	74.6	6.9	4.3	4.1	5.0
気高	♂	5	27.1	100.0%	509.0	60.6	7.8	2.5	73.9	7.4	4.6	4.6	5.0
	♀	13	29.0	92.3%	487.2	62.4	8.2	3.2	74.1	7.4	4.2	4.2	5.0
	計	18	28.5	94.4%	493.3	61.9	8.1	3.0	74.0	7.4	4.3	4.3	5.0
藤良	♂	2	28.7	100.0%	480.5	61.5	7.1	1.5	74.8	6.0	4.5	4.5	5.0
	♀	4	29.2	75.0%	472.8	55.8	8.1	3.4	73.0	6.0	3.8	3.8	5.0
	計	6	29.0	83.3%	475.3	57.7	7.8	2.8	73.6	6.0	4.0	4.0	5.0

(株)北海道畜産公社道央事業所上川工場 平成28年7月1日 雌 27ヶ月齢



母の父:菊福秀 × 母の祖父:第5夏藤 肥育者:中富良野町/愛澤 忠氏
枝肉重量:544kg ロース芯面積:63cm² BMS No.11 格付:A-5

ホクレン十勝枝肉市場 平成28年9月10日 去勢 28ヶ月



母の父:光平福 × 母の祖父:福栄 肥育者:札内町/二瓶 義則氏
枝肉重量:462kg ロース芯面積:66cm² BMS No.10 格付:A-5

H黒-236

個体識別番号:13074-1110-0 黒 14878 81.4点
平成23年6月21日生 産地:北海道天塩郡遠別町
繁殖者:長谷川 繁男氏 ※遺伝病は全てマイナス



はな はる しげ
花晴茂

『花晴茂』は北海道天塩郡遠別町の長谷川繁男牧場で生産されました。

母「ひもしげひめ(父:平茂晴)」は当団種雄牛「北斗王」の異父妹にあたる繁殖雌牛です。多くの優れた産肉実績を持つ祖母「ひもしげばな(父:第1花園)」に「平茂晴」を交配し、藤良系の血液で固定された母「ひもしげひめ」に、宮城県基幹種雄牛である「茂洋」を交配して、茂金系と藤良系の血液を濃く受け継ぎ、増体と肉質の改良に期待する茂金系種雄牛です。

現場後代検定の結果は上物率92.6%、枝肉重量477kgと優れた成績となっており、特に脂肪交雑能力においてはBMS No.8.0を記録しています。また、平成29年1月評価の北海道育種価では脂肪交雑順5位にランクされており、育種価においても高い評価を受けている種雄牛です。

昨年開催された第13回当団黒毛和種枝肉共励会の後代検定牛の部において枝肉重量582kg、ロース芯面積83cm²、BMS No.11を記録し最優秀賞を受賞しています。

系統別には気高系、藤良系との相性が良く、特に藤良系母体との交配では上物率100%、BMS No.8.4と優れた産肉能力を示しています。

発育、体積があり、骨締まりが良く体上線の強い産子が生産されています。

血統 茂洋
ひもしげひめ — 平茂晴 — 第1花園
ひもしげばな — ひもしげひめ — 茂金系

成績1 現場後代検定成績

上物率(%)	92.6	枝肉重量(kg)	477
ロース芯面積(cm ²)	65	バラの厚さ(cm)	8.0
皮下脂肪の厚さ(cm)	2.7	歩留基準値(%)	74.8
BMS No.	8.0	肉の色 光沢	4.5
きめしまり	4.4	脂肪光沢質	5.0

成績2 育種価 29頭

枝肉重量 育種価(kg) 正確度	39.526 0.928	ロース芯面積 育種価(cm ²) 正確度	18.874 0.920
バラの厚さ 育種価(cm) 正確度	0.520 0.907	皮下脂肪厚 育種価(cm) 正確度	-0.178 0.929
歩留基準値 育種価(%) 正確度	2.501 0.929	脂肪交雑基準値 育種価 正確度	2.863 0.935

調査牛の母牛による系統別平均一覧

系統	性別	頭数	月齢	上物率	枝肉重量	ロース芯面積	バラの厚さ	皮下脂肪厚	歩留基準値	BMS	肉の色 光沢等級	きめしまり等級	脂肪光沢質等級
田尻	♂	2	28.5	100.0%	478.5	58.5	7.7	2.5	74.0	6.5	4.0	4.0	5.0
	♀	3	30.3	66.7%	451.3	64.0	8.0	3.0	74.8	7.7	4.7	4.3	5.0
	計	5	29.6	80.0%	462.2	61.8	7.9	2.8	74.5	7.2	4.4	4.2	5.0
気高	♂	10	28.7	100.0%	507.7	65.5	8.1	2.6	74.7	8.5	4.6	4.5	5.0
	♀	5	29.4	80.0%	418.8	62.0	7.7	3.2	74.5	7.0	4.2	4.2	5.0
	計	15	29.0	93.3%	478.1	64.3	8.0	2.8	74.7	8.0	4.5	4.4	5.0
藤良	♂	4	28.3	100.0%	511.5	62.8	8.0	2.6	74.2	8.3	4.8	4.8	5.0
	♀	3	27.5	100.0%	449.7	75.7	7.8	2.6	76.5	8.7	4.7	4.7	5.0
	計	7	28.0	100.0%	485.0	68.3	7.9	2.6	75.2	8.4	4.7	4.7	5.0

ホクレン十勝枝肉市場 平成28年10月8日 去勢 29.5ヶ月



第13回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会 後代検定の部【最優秀賞】
母の父:勝忠平 × 母の祖父:安平 肥育者:白老町/和牛王国上村牧場株式会社
枝肉重量:582kg ロース芯面積:83cm² BMS No.11 格付:A-5

ホクレン十勝枝肉市場 平成28年10月8日 去勢 29.2ヶ月



第13回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会 後代検定の部【優秀賞】
母の父:百合茂 × 母の祖父:北国7の8 肥育者:大樹町/岡本 透氏
枝肉重量:440kg ロース芯面積:69cm² BMS No.11 格付:A-5

CD(牛コレステロール代謝異常症)について

家畜人工授精事業体協議会

※3月3日開催の乳用牛遺伝的不良形質専門委員会で、当該不良形質をCD(牛コレステロール代謝異常症)とすることとしたので、本誌ではHCDをCDとし掲載しています。

はじめに

2015年7月、牛の遺伝的能力評価に関する国際会議においてドイツのグループからホルスタイン種の新たな遺伝性疾患(遺伝的不良形質)が報告されました。この遺伝性疾患はCD(当初はHCD)と名付けられ、原因となる遺伝子が世界中に広まっていることがわかりました。国内でも発症牛が確認され、すでに対策も始まっています。そこで国内外のCDに関する状況について説明します。

症状について

ドイツの報告は、発症牛の特徴的な症状として原因不明の慢性下痢が見られ、いかなる治療でも改善が見られないこと、また二次疾患として肺炎や浮腫、発育不全が見られ、発症子牛は3週間から6ヵ月で死亡することでした。当該子牛の体高は正常だったものの体重は36.5~59kgでした。病理所見では、当該子牛は蓄積脂肪を消耗した餓死状態で、血中総コレステロール濃度(TC)や血清トリグリセリド濃度(TG)が極端に低く、脂肪代謝に異常があったという内容でした。この報告後、世界各地でこの疾患の症例報告が出されました。北米では当初、ハプロタイプ検査しかできなかったことから、Haplotype for Cholesterol Deficiency、略してHCDと命名されました。日本でも昨年、発症牛が見つかり、牛コレステロール代謝異常症(略称CD)と名付けられました。国内発症例においてもドイツと同様の症状が確認されました(図1)。CD発症牛は、生後ある程度まで生存するケースが多く、治療可能な感染症などと区別しにくいことなどから長期の治療を行うケースが多く、畜主への負担が重く、重大な疾患であると報告されています。



図1:国内における発症牛(左:44日齢,右:3ヶ月齢 提供:帯広畜産大学)

遺伝子について

CDが遺伝性疾患だと疑われたのは、ドイツ国内の別々の農場で移植された分割受精卵由来の産子において、同様の特徴的な症状を示したことから、血統をたどると父母両方からカナダの種雄牛モーリン ストーム ET(73H2012) 5457798Cにたどりついたことから常染色体劣性の遺伝性疾患と判明しました。これは、今までの報告された遺伝性疾患と同じく、保因牛(キャリア)同士の交配で生まれた産子のみが発症し、発症する産子が産まれる確率は25%(1/4)です。昨年の4月、CDの原因である遺伝子の異常が見つかりました。現在では、原因遺伝子が見つかったことで、精度に劣るハプロタイプ検査に代わり、結果が確実な遺伝子型検査が可能になりました。

検査について

前述の通り、この疾患は最初ハプロタイプ(Haplotype)のHを付けてHCDと呼ばれていましたが遺伝子型検査ができるようになった現在ではCDもしくはホルスタイン(Holstein)のHとしてHCDとされています。ここでハプロタイプ検査と遺伝子型検査について、簡単に説明します。この二つの検査はどちらもDNAを調べる検査ですが大きな違いは精度です。遺伝子型検査は疾患の原因である遺伝子の異常を直接検査していますが、ハプロタイプ検査は異常そのものではなく、周辺のDNAの状態を検査しています。しかし、CDのハプロタイプ検査は他の遺伝性疾患に比べ精度が低く、ドイツでは約80%の正解率だったと報告されています。そのため、アメリカホルスタイン協会ではハプロタイプ検査の結果だけでなく、血統情報を併用して精度を上げています。CDのハプロタイプ検査結果を0~4までの5種類のコードで表示し、血統が確認できた「保因牛」はコード1、血

統が確認できない「保因疑い」はコード3としています。また、カナダではハプロタイプ検査の結果をパーセント表示しており、結果は「ほぼ正常」の1%から「ほぼ保因」の99%の間をとります。

ハプロタイプ検査に対し、遺伝子型検査はCDの原因であるDNAの異常を直接検査しているため、「正常(CDF)」「保因(CDC)」「発症(CDS)」の3種類の結果となり、「保因」であれば100%保因牛となります(括弧内は世界ホルスタイン・フリージアン連盟での表記方法)。現在、日本での検査は全て遺伝子型検査です。

国内外の状況について

CDの各国の状況をまとめると、ドイツホルスタインの保因個体の割合(保因率)は約8.7%でした。ハプロタイプ検査ですので多少の誤差があるとして、年間約3,400頭が発症していると考えられます。北米では、ほぼすべての種雄牛がゲノミック評価によりハプロタイプ検査を受けますが、保因および保因疑いの割合は約6%でした。カナダでは2012年生れの雌では保因率が17%、死亡した子牛は、約2,000頭いたと考えられています。その後、保因率は減少し、2016年生まれでは保因率12%以下、発症子牛は900頭以下だったと報告されています。日本

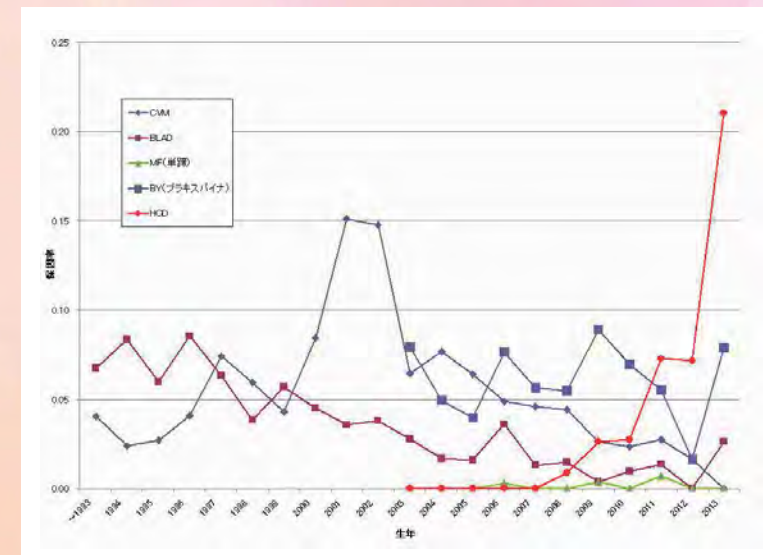


図2:国内一般搾乳牛での生年別HCD保因率

で約900頭の一般搾乳牛の遺伝子型検査を行った結果、2013年生での保因率が20%以上に上昇しています。現在、遺伝子型検査を行っている他の遺伝性疾患と比べても近年のCDの頻度の高さが目立っています(図2)。

国内の対策について

CDは今までに見つかった他のホルスタイン種の遺伝性疾患に比べ、①国内を含め世界的に保因率が高い。②発症牛が与える畜主への負担が大きい。③海外のハプロタイプ検査の精度が低い。ことなどから、家畜人工授精事業体協議会(JAAB)は、国内の供用種雄牛および候補種雄牛の遺伝子型検査が終了した時点で、1)保因

種雄牛の公表と精液の販売停止を行う。2)選抜される種雄牛からは保因牛を排除する。3)保因牛は後代検定に参加させない。ことを申し合わせました。

また、それに合わせて家畜精液輸入協議会(SIC)でも、今後、輸入精液での保因牛の扱いについて慎重な対策をとる予定になっています。これにより、今後は国内において保因種雄牛精液の流通に制限がかかることになり、CDによる被害が減少することになるはずです。

おわりに

近年、ホルスタイン種の子牛損耗率が上昇している傾向がみられますが、CDはその原因の一つかもしれません。種雄牛側からの制限により国内においてはCDの発症は抑えられることにはなりますが、現在妊娠中の胎子や未使用の保因種雄牛精液などが利用など見込まれ、今後1年間は発症子牛が産まれる可能性があります。CD発症牛の、治療による完治は不可能ですので、血統や症状などから発症牛と予想される場合は早めに結論を出す必要があります。疑わしい場合は遺伝子型検査を受けることもできます。CDはゲノミック評価に用いられる技術を利用して見つかりました。技術の進歩により、新たな疾患が見つかりますが、これは、今まで原因不明で死んでいた子牛の一部で理由が明らかになったということです。今後も新たな遺伝性疾患などが見つかる可能性はありますが、適切に対応することにより最小限の被害に抑えることが可能になります。なお、ここで示した国内でのCDの遺伝子型検査による調査はJRA畜産振興事業により行われました。

(文責:家畜改良事業団 荻野 敦)

新しいスタートで前進 ～訓子府町 高倉牧場を訪ねて～



近年ミルクシステム
の発展や畜産クラスター事業
による補助制度も相まって施設
を一新する酪農家が増加して
おり、搾乳ロボットの普及
率も顕著に増加しています。
訓子府町高園の高倉牧場(代表
高倉昌勝氏)も昨年度フリース



高倉英介さんと好美さんご夫妻

トールを新築し、飼養形態を一新されました。後継者の英介さんは昨年5月にオホーツクNOSAI佐呂間診療所にて授精業務をされている好美さんにご結婚され、更に28年度北海道ナショナルショウで第2部1等賞4席の成績を収められ、躍動の一年となりました。今回は、そんな新しいスタートをきったばかりの高倉牧場へお話を伺ってきました。

【牧場概要】

訓子府町はオホーツク管内の内陸に位置し、寒暖差が激しくはありますが、降水量が少なく日照率が比較的高いため、玉ねぎや馬鈴薯、小麦や甜菜を始め多岐にわたる農作物が栽培され、酪農も盛んな地域です。

訓子府町の見晴らしの良い高台にある高倉牧場の看板から敷地に入ると、英介さんの祖父によって60年前に建てられた牛舎が右手に見えます。古い牛舎を通り過ぎて少し奥にある坂の下に、一昨年の12月に新築されたフリーストール牛舎が目に入ります。



アプレストパーラー

牛舎正面の大きな扉から入ると、右手に自動給餌機の充填スペース、奥には搾乳ロボットがあり、広々とした飼槽を挟んで向かい側にアプレストパーラーがあります。牛舎の入口に鳥よけチェーンが垂らしてあり、ネットではないので人の通行の妨げにはなりませんが、ハトやカラスの侵入をしっかり防いでいます。また各所に消毒用マットが設置され、牛舎内はとてもきれいに保たれ、牛がストレスを感じることなく過ごしている様子でした。

高倉牧場は総頭数220頭、うち搾乳牛120頭(ロボット搾乳とアプレストパーラー搾乳で60頭ずつ)、平均日乳量36kg、年間出荷乳量1,400tです。耕作地は牧草38ha、デントコーン28ha。増頭に伴い新しい牛舎のほか、バンカーサイロも新設されました。

【飼養形態の一新】

『以前は37頭つなぎ牛舎で、搾乳作業は3人で全頭を入れ替えして行うため、2時間を費やしてしまい、夜の搾乳が終わると夕飯を食べる気力もないほど、とても大変でした。パーラーの建設は3年ほど前から計画していましたが、搾乳ロボットの導入は当初予定していなかった。友人の牧場で導入し上手くいった事と、畜産クラスター事業があり、

導入のきっかけになりました。』と英介さん。

ミルクシステムは全てDeLaval社製で、搾乳ロボットはVMSを導入。VMSにはたくさんの機能がありますが、手前にある振り分けゲートで、搾乳ロボット、もしくはフィードステーションへ誘導します。高倉牧場のデータによりますと、平均で1日1頭あたり13回このゲートに来ていて、うち搾乳は2.8回です。多回搾乳になったため、牛及び乳房への負担が減り、乳房炎治療が年間2頭程にまで減少したそうです。搾乳ロボットに



フィードステーション

不適合な牛や治療牛を中心に
およそ60頭がアプレストパーラーで搾乳していますが、8台の
ユニットを使うことで、英介さんとお母様の作業効率が以前
よりも格段に
向上しました。
TMR飼料の自動給餌機はROVIBEC社製で、ロボット側は1日6回、パーラー側は1日4回給餌されます。プッシャー機能も付いており、一日に数回餌寄せも行われ、牛たちが好きな時に飼槽から採食できるようになっています。また、ストール内に設置されたフィードステーションで各個体に設定された量の濃厚飼料が1日数回に分けて給餌されます。

バーンスクレーパーを取り付けたので除糞作業が省け、牛追いもパーラーでの搾乳時のみのため身体的負担が大幅に軽減し、作業全体にゆとりができ、また牛へのストレスも減少し乳量や繁殖成績が顕著に改善したそうです。



搾乳ロボット



採食中の牛たち

【ショウへの取り組み】

高倉牧場は、英介さんの祖父の時代からショウに熱心に取り組んできました。英介さんも幼少期からリードマンとして活躍していて、北海道ナショナルショウへも幾度となく出場しています。昨年1等賞入賞を果たした「ハイリークイーンパインビュー エンバシ」号は古くから高倉牧場に繁栄している血統の牛で、ショウリングでは奥さんの好美さんがリードマンを務め、ご結婚されて初めてのショウを素晴らしい成績で終えることが出来たと嬉しそうに話されていました。

牛群の改良に関しては、中サイズの牛で乳器・肢蹄に加え尻幅にも重点を置いています。当団種雄牛では「レジェンド」をご利用いただいています。

【最後に】

『今後は常時120頭を搾乳し、ショウも続けながら兄弟・家族でゆとりのある経営をしていきたい。』と英介さん。牛舎は将来のために搾乳ロボットを増設できるようにしています。今は経営拡大のために導入した個体が多いのですが、今後は高倉牧場に古くより繁栄する血統を始め、導入した牛たちから選りすぐりの血液を残していきたいと言います。高倉牧場の今後益々の活躍に目が離せません。

この度取材にご協力いただいた高倉牧場様に厚くお礼を申し上げます。

(十勝北見事業所 橋本優子)

平成28年度後期 新規現場後代検定実施種雄牛の紹介

当団では、黒毛和種種雄牛能力評価の為に公益社団法人全国和牛登録協会の和牛産肉能力検定現場後代検定法(以下:現場後代検定)による年間8頭の種雄牛の現場後代検定を実施しています。平成28年度後期分の現場後代検定実施種雄牛を2回に分けて紹介させていただきます。

H黒-272 輝百合

【テルユリ】

黒原 5934 平成26年9月3日生
得点83.4点 生産者:北海道 高瀬 春輝氏

美津百合	百合茂	平茂勝
	よしの1	美津福
なな	安福久	安福165の9
	まつ1の22	平茂勝



母「なな(父:安福久)」は北海道育種価 脂肪交雑順29位(平成26年6月評価)にランクした高育種価繁殖雌牛です。

その母に産肉能力に定評のある「美津百合」を戻し交配することで、気高系の血統の固定を図った種雄牛です。本牛は発育、体幅、前軀に優れ、脂肪交雑能力の改良に期待する気高系種雄牛です。

H黒-284 照重久

【テルシゲヒサ】

黒 15200 平成27年5月1日生
得点82.6点 生産者:北海道 請川 公一氏

美津照重	美津照	美津福
	いつみ	美津福
かおり	安福久	安福165の9
	あらしげ	平茂勝



母「かおり(父:安福久)」は、4産目の去勢牛(父:芳之國)でBMS No.12、ロース芯面積107cm²、枝肉重量565kgという優れた産肉成績を持つ高育種価繁殖雌牛です。

その母に脂肪交雑能力の高さにおいて評価の高い「美津照重」を交配し、田尻系の血液を濃く受け継いだ種雄牛です。本牛は発育良く、体幅、体深、資質に優れており、質量兼備に期待できる種雄牛です。

平成29年度 牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会開催要領

牛に係る家畜体内受精卵移植の資格を付与するため、次により講習会を開催する。

1 講習会

- (1)開催者 : 一般社団法人ジェネティクス北海道
- (2)期 日 : 平成29年8月21日(月)から
同年 9月 6日(水)まで
(日曜日を除く15日間)
- (3)場 所 : 清水町役場 御影支所(御影公民館)
上川郡清水町御影東1条5丁目1-1
- (4)受講資格 : 牛に係る家畜人工授精師の免許を有し、新たに家畜体内受精卵移植の資格を得ようとする者
(免許証の交付を受けている者に限る。)
- (5)受講人員 : 25名程度
(希望者が多数の場合は、家畜人工授精所勤務者を優先し、家畜人工授精師としての経験年数、受講希望理由を考慮して選考する。)
- (6)講習科目 : 家畜改良増殖法施行規則第23条に定められた科目及び時間数

5 受講許可

受講許可又は不許可については、書面で本人に通知する。

6 その他

- (1) 宿泊は、各自がビジネスホテル等に申し込み確保すること。
なお、車中又はテント内で宿泊する者は受講を認めない。
- (2) 実習を含め移動手段として公共交通機関が期待できないため、自家用車は各自用意すること。
- (3) 提出された書類は返却しない。
- (4) 受講願書等の送付先及び講習会についての問い合わせ先は次のとおり。

一般社団法人ジェネティクス北海道 生産統括部
〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1 北農ビル
Tel 011-242- 9644 Fax 011-242-9651

2 修業試験 学科及び実習

- (1)日 時 : 平成29年9月6日(水)及び 7日(木)
- (2)場 所 : 上記1の(3)に同じ

3 受講手続

受講願書(別記様式A4)、履歴書(市販様式A4又はA3)及び家畜人工授精師免許証の写しを一般社団法人ジェネティクス北海道理事長あて提出する。

- ・ 履歴書に貼付する写真は、本人と確認できるものに限る。
- ・ 履歴書に受講希望の理由を具体的に明記すること。
- ・ 提出期限は平成29年7月14日(金)必着とする。

4 受講料

60,000円(納入については受講決定時に別途通知する。)

受講願書(様式)

受 講 願 書

平成 年 月 日

一般社団法人ジェネティクス北海道
理事長 佐藤 俊彰 様

所 属

本籍地(都道府県名)

現住所

氏 名 印

昭和・平成 年 月 日生

牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会を受講したいので、関係書類を添えて提出します。

[日本工業規格A4]